

令和三年 年頭所感

エスビー食品株式会社
代表取締役社長 小形 博行

新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

創業者・山崎峯次郎が国産初のカレー粉の製造に成功してから約1世紀にわたり、当社グループは、スパイスやカレー、わさび、フレッシュハーブなど、日本の食卓を彩るさまざまな製品をお届けしてまいりました。お陰様で新たな年を迎えることができましたのは、ひとえに皆様の温かいご支援、ご愛顧の賜物と心より感謝申し上げます。

さて、昨年は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大に伴う影響が深刻化いたしました。当社グループでは対策本部を設置し、感染予防・拡大防止に向け対策を徹底し、従業員の安全確保を最優先とした対応を進めるとともに、生産・物流の現場においては、衛生管理と感染リスクの対策を徹底の上、製品の安定的な生産・供給に努めてまいりました。また、外出の減少によって家庭内で食事をする機会が大幅に増加したことで、手軽に喫食できる簡便製品の需要が拡大する一方、本格的な料理にチャレンジしたいというニーズから、スパイスなどの基礎調味料の売上が伸長するなど、当社の事業環境にも大きな変化が見られました。依然として先行きの不透明な状況が続いてはおりますが、今後もお客様の消費行動やライフスタイルの変化を捉え、新しい日常に対応した新たな食の提案により、更なる市場の活性化を図ってまいります。

2020年度よりスタートした第2次中期経営計画においては、第1次中期経営計画で強化に取り組んできたスパイスとハーブに関する事業を通じて、お客様の豊かで健やかな暮らしに貢献することを目指すとともに、「地の恵み」を事業の核とする企業として、さまざまな社会課題の解決にも取り組んでおります。基本方針『地の恵み スパイス&ハーブ』をコアコンピタンスとした事業を推進するとともに、持続可能な企業と社会の実現を目指す。」のもと、「お客様のしあわせ」「従業員のしあわせ」「未来の人々のしあわせ」の3つを実現するべく、それぞれに重点戦略と重点施策を設定し、取り組みを進めております。

また、世界的な気候変動や国内の人口減少・高齢化など、社会環境が大きく変化を続けるなかで、企業や製品に求められるものは、これまで以上に多岐にわたってきております。当社グループでは、社会に価値を提供する企業として持続的に存在し、成長し続けるために取り組む社会課題の目標を「エスビー食品ミッション」として掲げております。この「エスビー食品ミッション」のもと、ESGやSDGsの考え方も取り入れながら、事業を通じて社会課題の解決に寄与することを目指してさまざまな活動に継続して取り組んでおり、第2次中期経営

計画においても非財務目標を設定しております。財務目標、非財務目標ともに、その達成に向けてグループ一丸となって取り組んでまいります。

これからも、ビジョンにある「おいしく、健やかで、明るい未来をカタチにする」ことを目指し、第2次中期経営計画を柱として、事業を通じて社会に貢献できる企業となれるよう努めてまいります。

本年も引き続きご愛顧、お引き立ての程、よろしくお願い申し上げます。